



7/1 しばた 寺・美楽喜

寺巡りを楽しもう！
お寺の魅力再発見！！

寺町周辺のお寺を会場に、「しばた 寺・美楽喜」が開催されました。これは、日頃、足を向けることの少ないお寺に気軽に立ち寄ってもらいたいと、9つの寺院を開放したものです。お寺の中には、雑貨店や飲食店など、その日限りのお店もオープン。当日は、天候に恵まれたこともあって、多くの方が訪れていました。

パンフレットを手に、お寺の紹介を見ながら巡る人や、本堂の荘厳な雰囲気の中で行うミニコンサートに参加して楽しむ人も。それぞれに、お寺の雰囲気を満喫している様子でした。

JOC オリンピック支援自動販売機を設置
7/4 ジュースを買って選手を支援！
オリンピックを盛り上げよう！

市内に JOC（日本オリンピック委員会）オリンピック支援自動販売機が4台設置され、ヨリネスしばた「札の辻広場」でセレモニーが行われました。

セレモニーには、本市出身のゴルフ選手で開志国際高校3年の石井理緒さんや、サッカーアルビレックス新潟レディースの高橋美夕紀さんも参加。石井さんは「東京オリンピックに出場できるようがんばりたいです」と、力強くあいさつしました。なお、自動販売機の売り上げの一部は、JOCを通じて、オリンピックを目指すトップアスリートの育成や強化支援などに役立てられます。



松塚漁港でヒラメの稚魚を放流
7/1 「赤ちゃん大きく育ててね」
願いを込めて大海原へ

紫雲寺地区にある市内唯一の漁港である「松塚漁港」で、ヒラメの稚魚の放流が行われました。参加したのは、藤塚小学校の6年生17人。当日は、子どもたちの手により、約1000匹の小さなヒラメが大きな海へと放たれました。

参加した児童たちは、地元漁師の方の説明を聞きながら、真剣にヒラメを観察したり、バケツに入った稚魚を大事そうに抱え、優しく海に放ったりしていました。放流後には、海をのぞき込み、笑顔でヒラメを見送っていました。

がんばっています！ まちづくり

五十公野健康農園
サルビアで花壇づくり

6月13日に、花でまちをきれいにしようと、さまざまな取組を行っている「五十公野健康農園」の皆さんが、五十公野コミュニティセンターの花壇にサルビアの植栽を行いました。

五十公野健康農園は、メンバーが変わりながらも25年以上活動を続けています。「みんなで仲良く楽しく健康農園」をモットーに、現在は60歳代から80歳代の13人で、花の種をまいたり、苗を育てたりしながら、環境美化活動を行っています。

作業後は、青空の下でお茶とお菓子を楽しみながら、会話にも花を咲かせていました。代表の澁谷 衛さんは、「今後、地域の子もたちと関わる機会を持ち、交流していきたいです」と話してくれました。



地域おこし協力隊「奮闘記」

赤谷地区担当 新井雅俊

子どもたちの発想を地域の力に！

市内の公民館で行われている学習支援の取組「土曜学習」を参考に、赤谷地区の小・中学生を対象とした学習会を行いました。



その中で、「地域をテーマにした活動を考えてみよう」というお題を子どもたちに投げかけてみたところ、「お年寄りを招いてお茶会をしたい」「地域のキャラクターを作りたい」など、さまざまなアイデアを出してくれました。自分たちの住む地域の事柄に対して、積極的に提案してくれる姿勢を見て、とても感動しました。

子どもたちの発想が、きっと地域に活力をもたらしてくれるでしょう。また、今回の経験がふるさとの未来を考えるきっかけになってくれたらうれしいと思っています。

7/23 大倉喜八郎
生誕180周年記念イベント

新発田の偉人の功績を
「目」と「耳」と「舌」で感じる1日

新発田が生んだ実業家・大倉喜八郎。その生誕180周年を記念したイベントが、イクネスしばたで開催されました。

当日は、パネル展（8月16日㊿まで開催中）や新潟大学名誉教授の富澤信明さんによる講演会で、あらためて喜八郎の偉業に触れただけでなく、ホテルオークラ新潟の協力による「食を楽しむ」企画も行われました。100個限定で販売されたホテル特製のパンは、すぐに完売する人気ぶり。名物のフレンチトーストの試食会では、参加者が「ふわふわで中がとろける」と話しながら、おいしそうにほおばっていました。

